

# 健康づくりは 幸せづくり

Making Health  
is making happiness



## 第59期

# 株主通信

平成24年4月1日～平成25年3月31日

## Contents

|                |      |
|----------------|------|
| 株主の皆様へ         | P.1  |
| 営業の概況（連結）      | P.3  |
| 研究開発の状況        | P.5  |
| 研究開発パイプライン     | P.6  |
| 生産物流の状況／次期の見通し | P.7  |
| 株主様ご優待のお知らせ    | P.8  |
| トピックス          | P.9  |
| 財務諸表（連結）       | P.11 |
| 会社情報           | P.13 |
| 株式情報           | P.14 |
| 株主メモ           |      |



ゼリア新薬  
ZERIA



代表取締役社長

## 伊部 幸 顕

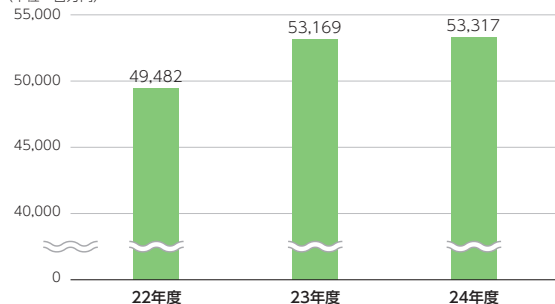


**Z・E・R・I・A Five** コーポレート・スピリッツ/企業理念

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。  
第59期の事業概況に関しまして、ここにご報告させていただきます。

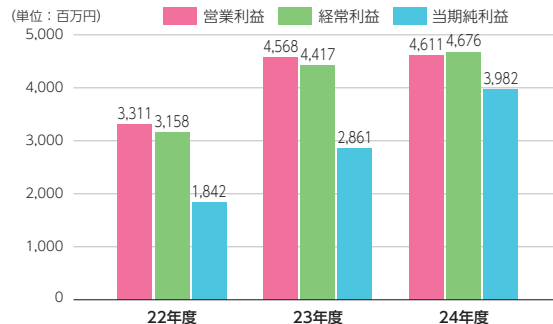
### 売上高

(単位：百万円)



### 営業利益/経常利益/当期純利益

(単位：百万円)



医療用医薬品業界におきましては、昨年4月に薬価改定が実施されるとともに、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が引き続き推進されており、またOTC医薬品市場におきましても、個人消費の低迷から国内市場の減退傾向が続くなど、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

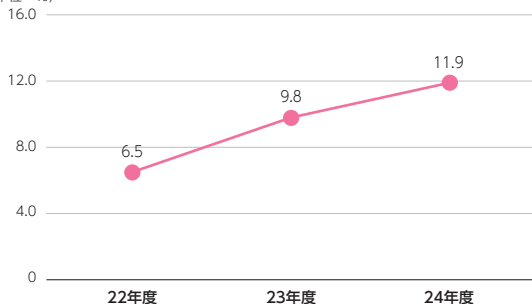
このような状況の中、当社グループは「グローバル企業としての基盤づくり」と位置付けた第7次中期経営計画(平成23年度～平成25年度)の2年目にあたる当連結会計年度を、国内におきましては、従来より「車の両輪」と捉えております医療用医薬品事業とコンシューマーヘルスケア事業をさらに発展させるとともに、海外におきましては、グループ企業の経営体制の強化と当社製商品の販売拡大に向けた体制整備を図る年と位置付け、経営資源の積極的な投入を行ってまいりました。

これらの活動の結果、当連結会計年度の売上高は、533億17百万円(前期比0.3%増)、営業利益46億11百万円(前期比0.9%増)、経常利益46億76百万円(前期比5.9%増)、当期純利益39億82百万円(前期比39.2%増)となりました。

なお、当連結会計年度の海外売上高比率は12.4%(前期12.2%)となっております。

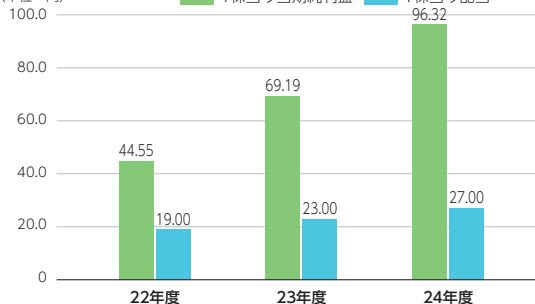
### 自己資本当期純利益率 (ROE)

(単位: %)



### 1株当たり当期純利益 / 1株当たり配当

(単位: 円)



## 医療用医薬品事業

DATA

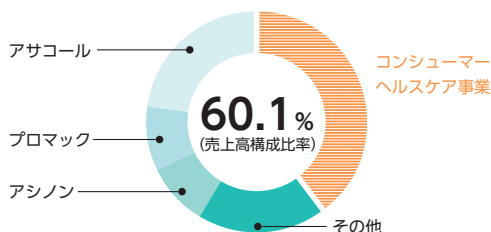
売上高

**319億20**百万円

(前期比 3.2%増)

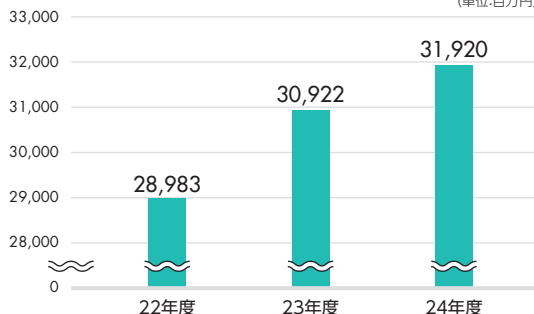
主要製品売上高

|       |         |
|-------|---------|
| アサコール | 120.5億円 |
| プロマック | 50.1億円  |
| アシノン  | 48.9億円  |



### 医療用医薬品事業連結売上高

(単位:百万円)



当事業におきましては、プロモーションコードの遵守を基本に、MR(医薬情報担当者)の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」は、国内における市場浸透の一層の推進とTillotts Pharma AG(以下 ティロッツ・ファーマ)の自販体制の強化により、売上をさらに拡大いたしました。しかしながら、H<sub>2</sub>受容体拮抗剤「アシノン®」、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック®」などの製品は、昨年4月の薬価改定や市場競争の激化の影響を受けて苦戦いたしました。なお、低リン血症治療剤「ホスリボン®配合顆粒」は平成24年12月に製造販売承認を取得し、平成25年3月より販売を開始いたしました。さらに、アステラス製薬株式会社と共同開発を行ってまいりました機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®錠100mg」は平成25年3月に製造販売承認を取得し、発売に向けた準備を進めました。

これらの結果、当事業の売上高は、319億20百万円(前期比3.2%増)となりました。



# コンシューマーヘルスケア事業

DATA

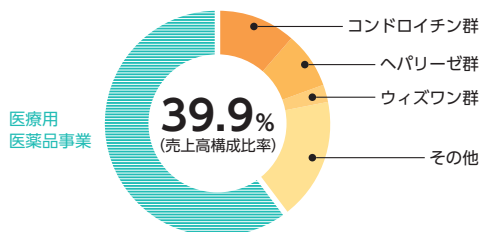
売上高

**211億80**百万円

(前期比 3.9%減)

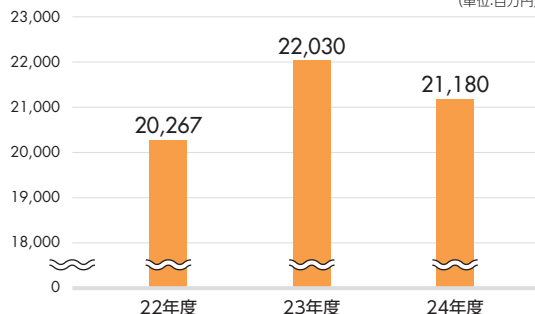
主要製品売上高

|          |        |
|----------|--------|
| コンドロイチン群 | 60.5億円 |
| ヘパリーゼ群   | 43.6億円 |
| ウィズワン群   | 13.9億円 |



## コンシューマーヘルスケア事業連結売上高

(単位:百万円)



当事業におきましては、超高齢社会が進展する中、生活者のセルフメディケーションをサポートする製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。

主力製品群である「ヘパリーゼ®群」につきましては、テレビCM等の広告宣伝投資を積極的に展開し製品認知度向上に努めた結果、「コンドロイチン群」に次ぐ大型製品として売上を大きく拡大いたしました。なかでもコンビニエンスストア向けの「ヘパリーゼ®W」(清涼飲料水)は、一昨年の発売以来、順調に売上を拡大しております。また、「ヘパリーゼ®W」のラインアップ強化を目的に、平成25年3月に「ヘパリーゼ®W粒タイプ」(栄養補助食品)を発売いたしました。一方、「コンドロイチン群」につきましては、引き続きテレビCMを放映するなど販売活動に注力し、圧倒的な市場シェアを堅持いたしました。個人消費の低迷などの影響を受けて苦戦いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、211億80百万円(前期比3.9%減)となりました。



# 研究開発の状況

研究開発部門におきましては、国際的に通用する新薬の創製を念頭に、自社オリジナル品の海外での臨床試験を積極的に推進するとともに、海外で実績のある薬剤を導入し、国内での開発を進めております。

最重点領域である消化器分野の新薬パイプライン強化に取り組む中で、ティロツツ・ファーマより導入した「Z-206 (アサコール®)」は、協和発酵キリン株式会社と共同でクローン病を対象としたフェーズⅡを実施しております。また、中国での開発につきましては、潰瘍性大腸炎を対象としたフェーズⅢを終了し、平成25年5月に承認申請を行いました。

日米欧3極で開発を進めてまいりました自社オリジナル品の「Z-338 (アコファイド®)」につきましては、国内において平成25年3月に世界初の機能性ディスプレイ治療剤として製造販売承認を取得いたしました。また、欧州における開発につきましては、フェーズⅢ開始に向けた準備を進めております。

「Z-103 (プロマック®)」につきましては、味覚障害を対象とした効能追加のフェーズⅢを実施しております。また、韓国SKケミカル社が胃潰瘍・胃炎治療剤として韓国で承認を取得した「プロマック® 顆粒15%」につきましては、平成24年8月より同国内での販売を開始いたしました。

「Z-100」につきましては、子宮頸癌に対する追加フェーズⅢを終了し、製造販売承認申請について検討

を進めております。

「Z-360」につきましては、日本国内における膀胱癌に対するフェーズⅠを実施するとともに、アジア地域におけるフェーズⅡ国際共同治験開始に向けた準備を進めております。

経口リン酸製剤「Z-521 (ホスリボン®)」は、低リン血症を適応症として平成24年12月に製造販売承認を取得し、平成25年3月に上市いたしました。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、平成24年12月にティロツツ・ファーマより導入した西洋ハーブ製剤「コルペルミン®」の製造販売承認申請をいたしました。

なお、当連結会計年度の研究開発費は、56億2900万円（前期比6.1%増）となりました。

## ● 研究開発の状況

### I. 国内開発状況

(平成25年5月16日現在)

#### 1) 消化器系分野

| 開発段階  | 開発番号/一般名          | 開発                | 適応症                     | 作用機序及び特長                      | 備考                       |
|-------|-------------------|-------------------|-------------------------|-------------------------------|--------------------------|
| 承認    | Z-338/<br>アコチアミド  | 共同開発<br>(アステラス製薬) | 機能的ディスペプシア<br>(アコファイド®) | 上部消化管運動改善作用                   | 自社品<br>共同販促<br>(アステラス製薬) |
| フェーズⅢ | Z-103/<br>ポラプレジンク | 自社                | 味覚障害<br>プロマック®効能追加      | 亜鉛補充                          | 導入品                      |
| フェーズⅡ | Z-206/<br>メサラジン   | 共同開発<br>(協和発酵キリン) | クローン病<br>アサコール®効能追加     | pH依存型放出調整製剤                   | 自社(Gr)品                  |
| フェーズⅠ | Z-360             | 自社                | 膵臓癌                     | ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用 | 自社品<br>アジア同時開発           |

#### 2) その他の分野

| 開発段階    | 開発番号/一般名 | 開発 | 適応症  | 作用機序及び特長 | 備考  |
|---------|----------|----|------|----------|-----|
| フェーズⅢ終了 | Z-100    | 自社 | 子宮頸癌 | 免疫調節作用   | 自社品 |

### II. 海外開発状況

| 開発段階                  | 開発番号/一般名         | 開発                   | 適応症              | 作用機序及び特長                      | 備考      |
|-----------------------|------------------|----------------------|------------------|-------------------------------|---------|
| 承認申請中<br>(中国)         | Z-206/<br>メサラジン  | 共同開発<br>(ティロツツ・ファーマ) | 潰瘍性大腸炎<br>アサコール® | pH依存型放出調整製剤                   | 自社(Gr)品 |
| フェーズⅢ準備中<br>(欧州)      | Z-338/<br>アコチアミド | 自社                   | 機能的ディスペプシア       | 上部消化管運動改善作用                   | 自社品     |
| フェーズⅡ終了<br>(北米)       | Z-338/<br>アコチアミド | 自社                   | 機能的ディスペプシア       | 上部消化管運動改善作用                   | 自社品     |
| フェーズⅡ準備中<br>(欧州, アジア) | Z-360            | 自社                   | 膵臓癌              | ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用 | 自社品     |

自社(Gr)品: 自社グループオリジナル品

ご参考

#### フェーズⅠ (第Ⅰ相臨床試験)

動物実験を終えて効き目(有効性)と毒性が確認された「薬の候補」は、少数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

#### フェーズⅡ (第Ⅱ相臨床試験)

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少数の患者さんで「薬の候補」の効き目(有効性)、副作用(安全性)、投与量、投与方法などの適切な使用方法を\*プラセボと比較しながら調べます。

#### フェーズⅢ (第Ⅲ相臨床試験)

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目(有効性)、副作用(安全性)、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、\*プラセボと比較する試験を行います。多くの場合二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

\*プラセボ 有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

## ● 生産物流の状況

生産物流部門におきましては、品質の確保を第一として業務を進めてまいりました。生産関連部門では、より高い品質の確保を目指すとともに原価の低減をメインテーマとして業務を進めてまいりました。一方、物流関連部門では、物流業務のアウトソーシングを実施する中、さらなる業務の効率化とコストの低減に努めてまいりました。

なお、当連結会計年度も「アサコール®」、「ヘパリーゼ®群」等の主力製品の売上の伸びにより、埼玉、筑波両工場の生産実績は高水準で推移し、設備はほぼフル稼働の状態となっております。今後とも上記製品群の生産増加や新薬の発売が見込まれるなか、効率的な生産体制の構築に一層注力してまいります。

## ● クローズアップ

### 「ヘパリーゼ® W (ダブル) 粒タイプ」新発売

大変好評をいただいております、全国のコンビニエンスストアで発売中のヘパリーゼ®ブランドの健康サポート飲料「ヘパリーゼ® W」の姉妹品として、肝臓エキス、ウコンエキス（クルクミン）などを配合した「ヘパリーゼ® W粒タイプ」（栄養補助食品）を、平成25年3月18日からコンビニエンスストア専売品として全国で販売を開始いたしました。

携帯に便利で服用しやすい「ヘパリーゼ® W粒タイプ」を、ヘパリーゼ®ブランドのラインアップ製品として積極的に展開してまいります。



## ● 次期の見通し

平成26年3月期（平成25年度）の連結業績予測につきましては、売上高605億円（前期比13.5%増）、営業利益56億円（前期比21.4%増）、経常利益56億円（前期比19.7%増）、当期純利益40億円（前期比0.4%増）となる見込みです。

### 売上高

医療用医薬品事業におきましては、主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」の国内外における売上拡大および機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®」の上市等により、増収を見込んでおります。また、コンシューマーヘルスケア事業におきましても、引き続き積極的な広告展開を計画し、主力製品である「コンドロイチン群」、「ヘパリーゼ®群」、植物性便秘薬「ウイズワン®群」等の売上拡大を見込んでおります。

### 利益

利益面におきましては、収益性の高い製品の売上高の増加により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに増益を見込んでおります。なお、当期純利益につきましては、前期に債務免除益等を特別利益に計上したことから、わずかな伸びに止まる見込みです。

|       | 第59期      | 第60期（予想） |
|-------|-----------|----------|
| 売上高   | 533億17百万円 | 605億円    |
| 営業利益  | 46億11百万円  | 56億円     |
| 経常利益  | 46億76百万円  | 56億円     |
| 当期純利益 | 39億82百万円  | 40億円     |



# 株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制度を行っております。  
A～E 5つのコースから、ご希望のいずれかをお届けいたします。  
ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

**A**  
コース

清涼飲料水・指定医薬部外品・特定保健用食品  
「アルミ缶入りドリンク・ヘパリーゼ®Wセット」



**B**  
コース

健康飲料  
「コンドロビー®濃縮液  
潤甦®(じゅんそう)」2本セット



**C**  
コース

美容・健康商品  
「コンドロマックス®・アポスティ®セット」



**D**  
コース

コンドロイチン配合夜間集中美容液  
「ZZ:CC®(ジージー・シーシー)  
アドソープエッセンス(30g)」  
2本セット



**E**  
コース

上質なうおいを実感する3品目  
「IONAベーシックスキンケア3点セット」



## 機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®錠100mg」新発売

2013年6月6日に当社オリジナル新薬で世界初の機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®錠100mg」（以下「アコファイド®錠」、一般名：アコチアミド塩酸塩水和物）を発売いたしました。

機能性ディスペプシアとは、癌や潰瘍、炎症などの明らかな器質的原因がないにもかかわらず、お腹がはったような感じを伴う腹部の不快感である腹部膨満感、少量の食事で満腹になる早期満腹感、みぞおちの痛みや灼熱感など、上腹部消化器のさまざまな症状が出現する疾患です。機能性ディスペプシアの原因は解明されていないものの、食物の胃から小腸への排出の遅延が密接に関連していることが明らかとなっています。

アコチアミド塩酸塩水和物は、当社によって創製された新規化合物であり、消化管運動に重要な役割を果たす神経伝達物質アセチルコリンの分解酵素を阻害することにより、胃運動の低下および胃からの食物排出遅延を改善させ、機能性ディスペプシアの自覚症状のうち食後膨満感、上腹部膨満感、早期満腹感を改善します。

アコファイド®錠は、ローマⅢ基準で診断された機能性ディスペプシア患者を対象に有効性を証明した世界初の機能性ディスペプシア治療剤として、世界に先駆けて日本で発売いたしました。

アコファイド®錠は機能性ディスペプシアを適応症とする初めての治療薬となることから、国内では機能性ディスペプシアの疾患啓発や早期の市場構築、製品価値の最大化を図ってまいります。また、欧州でもフェーズⅢの準備を進めており、本年度中の開始を目指しています。フェーズⅡが完了している米国においても早期にパートナーを選定し、開発を進める予定です。

アコファイド®錠は、機能性ディスペプシアに苦しむ患者さんの自覚症状改善及びQOL向上に貢献するものと期待しております。



## 低リン血症治療剤「ホスリボン®配合顆粒」新発売

2013年3月4日に「低リン血症」を適応症とする経口リン酸製剤「ホスリボン®配合顆粒」（有効成分：リン酸二水素ナトリウム一水和物及び無水リン酸水素二ナトリウム）を発売しました。

国内では低リン血症を適応とする経口リン酸製剤は承認されておらず、日本小児内分泌学会、日本小児腎臓病学会、日本内分泌学会及び厚生労働省難治性疾患克服研究事業ホルモン受容機構異常に関する調査研究班から「低リン血症」に対する開発要望書が厚生労働省に提出され、「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」での検討を経て、2010年5月に厚生労働省から当社へ開発要請がなされました。これを受け、当社では、希少疾病対策は製薬企業としての社会的責務であるとの判断から、開発を行いました。

低リン血症は、腎臓からのリン排泄亢進や消化管からのリン吸収低下といった原因で血清リン濃度が低下する疾患です。低リン血症が慢性化すると、骨の石灰化障害が引き起こされ、骨変形や低身長、著明な骨痛や筋力低下、偽骨折といった症状を示す「くる病・骨軟化症」を発症します。

このような低リン血症を示す主な原因疾患である「原発性低リン血症性くる病（家族性低リン血症性くる病）」、「腫瘍性骨軟化症」、「ファンconi症候群」および「未熟児くる病」の患者数は国内で合計3,500から7,000人程度と推計されています。

ホスリボン®配合顆粒が本疾患に苦しむ患者さんへ貢献できるものと期待しております。



# 財務諸表(連結)

## 連結貸借対照表(要旨)

| 科目              | 期別 | 前連結会計年度       | 当連結会計年度       |
|-----------------|----|---------------|---------------|
|                 |    | 平成24年3月31日現在  | 平成25年3月31日現在  |
| <b>[資産の部]</b>   |    |               |               |
| <b>流動資産</b>     |    | <b>27,223</b> | <b>30,236</b> |
| 現金及び預金          |    | 5,713         | 7,367         |
| 受取手形及び売掛金       |    | 12,605        | 13,625        |
| たな卸資産           |    | 6,068         | 6,542         |
| 繰延税金資産          |    | 862           | 797           |
| その他             |    | 1,994         | 1,916         |
| 貸倒引当金           |    | △21           | △12           |
| <b>固定資産</b>     |    | <b>47,977</b> | <b>48,009</b> |
| <b>有形固定資産</b>   |    | <b>21,048</b> | <b>21,220</b> |
| 建物及び構築物         |    | 6,510         | 6,709         |
| 機械装置及び運搬具       |    | 2,613         | 2,521         |
| 土地              |    | 11,561        | 11,593        |
| 建設仮勘定           |    | 1             | —             |
| その他             |    | 361           | 395           |
| <b>無形固定資産</b>   |    | <b>13,107</b> | <b>12,621</b> |
| <b>投資その他の資産</b> |    | <b>13,821</b> | <b>14,167</b> |
| 投資有価証券          |    | 9,767         | 10,571        |
| 繰延税金資産          |    | 1,401         | 974           |
| その他             |    | 2,718         | 2,672         |
| 貸倒引当金           |    | △65           | △50           |
| <b>資産合計</b>     |    | <b>75,201</b> | <b>78,246</b> |

(単位：百万円、端数切捨て)

| 科目              | 期別 | 前連結会計年度       | 当連結会計年度       |
|-----------------|----|---------------|---------------|
|                 |    | 平成24年3月31日現在  | 平成25年3月31日現在  |
| <b>[負債の部]</b>   |    |               |               |
| <b>流動負債</b>     |    | <b>24,826</b> | <b>24,827</b> |
| 支払手形及び買掛金       |    | 3,344         | 3,308         |
| 短期借入金           |    | 14,838        | 15,250        |
| その他             |    | 6,643         | 6,269         |
| <b>固定負債</b>     |    | <b>19,880</b> | <b>16,508</b> |
| 長期借入金           |    | 19,123        | 15,665        |
| 退職給付引当金         |    | 146           | 152           |
| 資産除去債務          |    | 72            | 73            |
| その他             |    | 538           | 616           |
| <b>負債合計</b>     |    | <b>44,706</b> | <b>41,336</b> |
| <b>[純資産の部]</b>  |    |               |               |
| <b>株主資本</b>     |    | <b>32,345</b> | <b>35,285</b> |
| <b>資本金</b>      |    | <b>6,593</b>  | <b>6,593</b>  |
| <b>資本剰余金</b>    |    | <b>5,414</b>  | <b>5,414</b>  |
| <b>利益剰余金</b>    |    | <b>27,649</b> | <b>30,598</b> |
| <b>自己株式</b>     |    | <b>△7,312</b> | <b>△7,320</b> |
| その他の包括利益累計額     |    | △1,995        | 1,440         |
| その他有価証券評価差額金    |    | △1,472        | 704           |
| 繰延ヘッジ損益         |    | 4             | —             |
| 為替換算調整勘定        |    | △527          | 735           |
| <b>少数株主持分</b>   |    | <b>144</b>    | <b>184</b>    |
| <b>純資産合計</b>    |    | <b>30,494</b> | <b>36,910</b> |
| <b>負債・純資産合計</b> |    | <b>75,201</b> | <b>78,246</b> |

## 連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

| 科目             | 期別 | 前連結会計年度                     | 当連結会計年度                     |
|----------------|----|-----------------------------|-----------------------------|
|                |    | 平成23年4月1日から<br>平成24年3月31日まで | 平成24年4月1日から<br>平成25年3月31日まで |
| 売上高            |    | 53,169                      | 53,317                      |
| 売上原価           |    | 18,547                      | 17,596                      |
| 売上総利益          |    | 34,622                      | 35,721                      |
| 返品調整引当金戻入額     |    | 137                         | 112                         |
| 返品調整引当金繰入額     |    | 112                         | 105                         |
| 差引売上総利益        |    | 34,646                      | 35,728                      |
| 販売費及び一般管理費     |    | 30,078                      | 31,117                      |
| 営業利益           |    | 4,568                       | 4,611                       |
| 営業外収益          |    | 367                         | 439                         |
| 営業外費用          |    | 518                         | 374                         |
| 経常利益           |    | 4,417                       | 4,676                       |
| 特別利益           |    | 336                         | 1,544                       |
| 特別損失           |    | 72                          | 197                         |
| 税金等調整前当期純利益    |    | 4,681                       | 6,023                       |
| 法人税、住民税及び事業税   |    | 1,837                       | 1,906                       |
| 法人税等調整額        |    | △72                         | 119                         |
| 少数株主損益調整前当期純利益 |    | 2,916                       | 3,997                       |
| 少数株主利益         |    | 55                          | 15                          |
| 当期純利益          |    | 2,861                       | 3,982                       |

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

| 科目               | 期別 | 前連結会計年度                     | 当連結会計年度                     |
|------------------|----|-----------------------------|-----------------------------|
|                  |    | 平成23年4月1日から<br>平成24年3月31日まで | 平成24年4月1日から<br>平成25年3月31日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー |    | 6,028                       | 3,878                       |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー |    | △2,566                      | 571                         |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー |    | △2,433                      | △3,340                      |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 |    | △264                        | 543                         |
| 現金及び現金同等物の増加額    |    | 763                         | 1,653                       |
| 現金及び現金同等物の期首残高   |    | 4,817                       | 5,581                       |
| 現金及び現金同等物の期末残高   |    | 5,581                       | 7,235                       |

## 連結株主資本等変動計算書 (要旨)

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：百万円、端数切捨て)

|                               | 株主資本  |       |        |        |        | その他の包括利益累計額      |             |              |                   | 少数株主持分 | 純資産合計  |
|-------------------------------|-------|-------|--------|--------|--------|------------------|-------------|--------------|-------------------|--------|--------|
|                               | 資本金   | 資本剰余金 | 利益剰余金  | 自己株式   | 株主資本合計 | その他有価証券<br>評価差額金 | 繰延ヘッジ<br>損益 | 為替換算<br>調整勘定 | その他の包括<br>利益累計額合計 |        |        |
| 平成24年4月1日期首残高                 | 6,593 | 5,414 | 27,649 | △7,312 | 32,345 | △1,472           | 4           | △527         | △1,995            | 144    | 30,494 |
| 連結会計年度中の変動額                   |       |       |        |        |        |                  |             |              |                   |        |        |
| 剰余金の配当                        |       |       | △1,033 |        | △1,033 |                  |             |              |                   |        | △1,033 |
| 当期純利益                         |       |       | 3,982  |        | 3,982  |                  |             |              |                   |        | 3,982  |
| 自己株式の取得                       |       |       |        | △7     | △7     |                  |             |              |                   |        | △7     |
| 株主資本以外の項目の連結<br>会計年度中の変動額(純額) |       |       |        |        |        | 2,177            | △4          | 1,263        | 3,435             | 39     | 3,475  |
| 連結会計年度中の変動額合計                 | -     | -     | 2,948  | △7     | 2,940  | 2,177            | △4          | 1,263        | 3,435             | 39     | 6,415  |
| 平成25年3月31日期末残高                | 6,593 | 5,414 | 30,598 | △7,320 | 35,285 | 704              | -           | 735          | 1,440             | 184    | 36,910 |

## 会社概要

|        |   |
|--------|---|
| 創 立    | 1955年12月  |
| 資 本 金  | 6,593,398,500円  |
| 社 員 数  | 1,298名 (連結)   |
| 主な事業内容 | 1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売及び輸出入<br><br>2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売及び輸出入 |

## 役 員 (平成25年6月27日現在)

|         |         |
|---------|---------|
| 代表取締役社長 | 伊 部 幸 顕 |
| 専務取締役   | 遠 藤 広 和 |
| 専務取締役   | 降 旗 繁 弥 |
| 常務取締役   | 多 胡 充 弘 |
| 常務取締役   | 菅 幹 雄   |
| 常務取締役   | 森 山 茂   |
| 取 締 役   | 大 野 晃   |
| 取 締 役   | 岸 本 誠   |
| 取 締 役   | 平 賀 義 裕 |
| 取 締 役   | 石 井 克 幸 |
| 取 締 役   | 加 藤 博 樹 |
| 取 締 役   | 横 手 秀 和 |
| 取 締 役   | 林 恭 弘   |
| 取 締 役   | 深 堀 勝 博 |
| 常勤監査役   | 花 田 雅 彦 |
| 常勤監査役   | 高 見 幸二郎 |
| 監 査 役   | 小 森 哲 夫 |
| 監 査 役   | 中 由 規子  |

## 事業所

- 本社
- 札幌支店
- 仙台支店
- 東京支店
- 東京第3営業所
- 神奈川営業所
- 埼玉営業所
- 千葉営業所
- 北関東営業所
- 甲信越営業所
- 名古屋支店
- 大阪支店
- 大阪第2営業所
- 神戸営業所
- 京滋北陸営業所
- 中四国支店
- 岡山営業所
- 高松営業所
- 福岡支店
- 中央研究所
- 埼玉工場
- 筑波工場
- 東京物流センター
- 札幌物流センター
- 埼玉物流センター
- 大阪物流センター
- 九州物流センター
- 出張所 青森・宇都宮・関越・静岡・金沢・山口・米子・松山・高知・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄

## 連結子会社 5社

### Tillotts Pharma AG

- 資 本 金 164万スイスフラン(持株比率100%)  
 事業内容 IBD(炎症性腸疾患)及び  
 IBS(過敏性腸症候群)治療剤の製造・販売

### ゼリアヘルスウエイ株式会社

- 資 本 金 85百万円(持株比率100%)  
 事業内容 健康食品の仕入・販売

### ZPD A/S (旧社名: Biofac Esbjerg A/S)

- 資 本 金 100万デンマーククローネ(持株比率85%)  
 事業内容 医薬品原薬を中心としたコンドロイチン硫酸ナトリウムの製造・販売

### イオナ インターナショナル株式会社

- 資 本 金 2億円(持株比率100%)  
 事業内容 化粧品・医薬部外品の製造・販売他

### 株式会社ゼービス

- 資 本 金 1億80百万円(持株比率100%)  
 事業内容 保険代理業・不動産業など

## 株式の状況

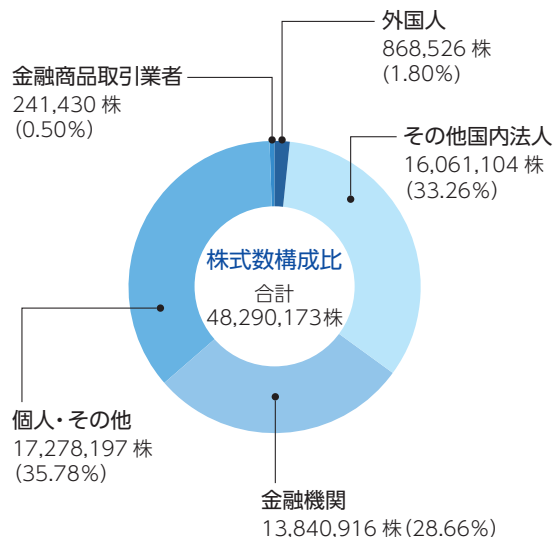
|           |              |
|-----------|--------------|
| ①発行可能株式総数 | 119,860,000株 |
| ②発行済株式総数  | 48,290,173株  |
| ③株主数      | 3,244名       |

## 大株主

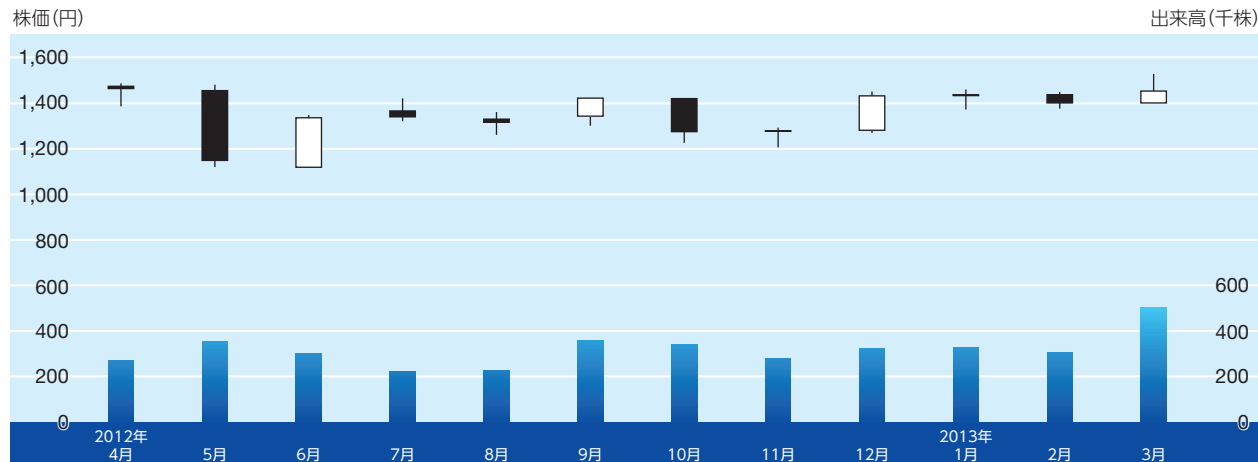
| 株主名                           | 持株数(株)    | 出資比率(%) |
|-------------------------------|-----------|---------|
| 有限会社伊部                        | 4,400,770 | 10.6    |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行                 | 1,915,500 | 4.6     |
| 日本トラスティ・サービス<br>信託銀行株式会社(信託口) | 1,905,000 | 4.6     |
| 森永乳業株式会社                      | 1,854,741 | 4.5     |
| ゼリア新薬工業従業員持株会                 | 1,524,357 | 3.7     |
| 伊部幸頭                          | 1,447,425 | 3.5     |
| 株式会社三井住友銀行                    | 1,278,301 | 3.1     |
| 株式会社みずほ銀行                     | 1,278,230 | 3.1     |
| 株式会社りそな銀行                     | 1,074,896 | 2.6     |
| あいおいニッセイ同和損害保険株式会社            | 858,691   | 2.1     |

(注)出資比率については、自己株式(6,950,846株)を控除して算出しております。

## 所有者別株式分布状況



## 株価および出来高の推移



# 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および  
全国各支店で行っております。

## ● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ● 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ● 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

健康づくりは幸せづくり



ゼリア新薬

ZERIA

## ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11  
TEL 03-3663-2351 (代表) FAX 03-3663-2352  
03-3661-2080  
<http://www.zeria.co.jp/>

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。

<http://www.zeria.co.jp/>

